

2016 年度大学入試センター試験 解説 <英語(筆記)>

第1問

A

【解説】

問1 正解 ②

下線部の発音は②が [dʒ], その他はすべて [g] である。

問2 正解 ④

下線部の発音は④が [u:], その他はすべて [au] である。

問3 正解 ②

下線部の発音は②が [juər], その他はすべて [ər] である。

B

【解説】

問1 正解 ③

unite は第2音節にアクセントがある。他はいずれも第1音節を強く読む。

問2 正解 ③

politics は第1音節に第1アクセントがある。他はいずれも第2音節を最も強く読む。

問3 正解 ④

opponent は第2音節に第1アクセントがある。他はいずれも第1音節を最も強く読む。

問4 正解 ①

agriculture は第1音節に第1アクセントがある。他はいずれも第2音節を最も強く読む。

第2問

A

【解説】

問1 正解 ①

「プラットフォームに着いたとき電車はもう到着していたので、私は寒い中で待つ必要はなかった」

reached が表す過去の一時点より前に起きたことを表す箇所なので、過去完了形の①が正解。

問2 正解 ①

「東京は土地面積が比較的狭いけれども、巨大な人口を抱えている」

後に Tokyo has ... area と it has ... population という2つの節がコンマだけでつながっているため、空所には最初の節を従節にする従属接続詞の①が入る。接続詞 But や前置詞 Despite にこの機能はない。However は「しかしながら」の意味の接続副詞の他、「どのように～しようと」と譲歩を表す用法もあるが、後者を取ったとしても意味が不自然。

問3 正解 ②

「バイリンガルの親に育てられた子供たちは、自然に2つの言語を身につけるかもしれない」

Children を修飾し、直後の by ... parents とつながって受動を表す過去分詞 brought で始まる②が正解。

問4 正解 ④

「私の姉[妹]は、きまじめな高校生ではなかったが、私もそうではなかった」

前方の否定文に続けて「S もまた～ない」の意味になる<neither+VS (倒置)>の形式の④が正解。

問5 正解 ②

「映画が始まる前に、必ず携帯電話のスイッチをお切りください」

make sure (that) SV で、「必ず～する、～を確認する」の意味になる。他の選択肢は、節 (SV) を直接つなげられない。

問6 正解 ①

「とてもはかどったので、私たちはもう予定より早く進んでいる」

ahead of schedule で「予定より早く」の意味になる慣用句。反対の意味の「予定より遅れて」は behind schedule, 「予定通り」は on schedule となる。

問7 正解 ①

「私のプレゼンテーションの後で彼らが好意的な意見を言ってくれたおかげで、私はとてもほっとした」

名詞 comments (意見) を修飾する形容詞 friendly が正解。他の選択肢は副詞で、直後の名詞を修飾することはできず、不可。

問8 正解 ③

「この必修授業を修了するまでは、卒業できません」

文脈から Until ... won't (…まで～ない) のつながりが最適。なお、組み合わせとしては Unless [Before] ... won't なども考えられる。

問9 正解 ①

「木材が以前は主たる燃料として使われていたが、今日では化石燃料が広く使われている」

助動詞 used to (以前は～したものだ) と単純現在時制の受動態 are used (使われている) の組み合わせとなる①が正解。なお、was used to は、「～に慣れていた」の意味で、直後には動名詞 being などが続くべきで不可となる。

問10 正解 ④

「毎日病院に祖母を見舞いに来るとは、彼はとても思いやりがある」

<it is +人の性格を表す形容詞+of 人+to do>の形式になる④が正解。

B

【解説】

問1 ・ 正解 ⑤・① (④⑤②⑥①③)

ホテル従業員：こんばんは、ゴメスご夫妻。どのようなご用件でしょうか。

ゴメス夫人：ええ、劇場への行き方を教えていただけないかと思って。

完成した英文は、(Well,) we're wondering if you could tell (us how to get to the theater.)となる。ポイントは、wonder if (〜かどうかと思う) のつながりと if 節内 (間接疑問) の語順が肯定文と同じになることである。

問2 ・ 正解 ③・⑤ (②③④⑥⑤①)

学生：すみません。来週のゼミで何を討論するのか知りたいのですが。

教授：まだ決めていないので、詳細はメールで送らせてくれたまえ。

完成した英文は、(I haven't decided yet, so) let me send you the details by (email.)となる。ポイントは、第5文型 let O do (Oに〜させる) と第4文型 send A B (A<人>にB<物>を送る)。

問3 ・ 正解 ④・⑥ (①④⑤③⑥②)

インタビュアー：こんな大会社のトップになられてから、あなたはどう変わられましたか？

社長：時間をもっと有効にやりくりする必要性を痛感するようになりました。

完成した英文は、(I) came to realize the need to manage (my time more effectively.)となる。ポイントは、come to do (〜するようになる) と the need to do (〜する必要性) のつながりである。

C

【解説】

問1 正解 ②

マイカ：夏のキャンプの最後の夜にキャンプファイアーをするのはどう？

ナオミ：最近はとても乾燥しているから、

空所の前のやり取りから、I don't think our teachers will allow us to light a fire. (先生たちは私たちが火をつけるのを許してくれないと思う) の意味になる②が正解。agree には文型的に(A)も(B)も続けられず、⑦と⑧は不可となる。

問2 正解 ②

ジョージ：時々僕は、自分があまり優秀な音楽家ではない気がするよ。

ロビン：よしてくれよ。

空所の前のやり取りから、No one is more talented than you. (君より才能のある人はいない) の意味になる②が正解。⑦は最後が of all などであれば状況に合う。

問3 正解 ④

ポール：ねえ、ヨウコ、ピアノのことで僕が息子に教えられることは本当にもうないよ。今ではあの子の方が僕よりうまく弾くのだから。

ヨウコ：ええ、多分

前後の文脈から、(we) should get someone else to teach him. (私たちは、だれか他の人に彼を覚えてもらうべきだわ) の意味になる④が正解。ここは<get O to do (Oに頼んで〜してもらう)>の第5文型が最適。肯定文なので anyone else は不適切。

第3問

A

【解説】

問1 正解 ④

スー：ねえ、もうすぐピーターの誕生日だね。サプライズパーティーに向けて万事うまくいってる？

ポリー：ええ。プレゼントはもう買って、包装してあるわ。ほら、見て。

スー： 今にも彼が入ってくるかもしれないわ。

ポリー：わかった。パーティーまで、しまっておくわ。

- ① 彼はその包装の色を気に入らないわ。
- ② 何を買うべきか私には少しもわからない。
- ③ 彼が来たら、あなたが買ったものを彼に見せなさい。
- ④ 彼に見えないように、それを隠しておくべきだわ。

空所後のポリーの言葉から、スーはプレゼントをパーティーが始まるまで隠しておくよう忠告していると判断できる。よって④が適切。

問2 正解 ②

ディエゴ：英語の宿題は済ませた？ 難しかっただろ？

フレッド：あー！ それは完全に忘れてたよ。

ディエゴ：昼休みにできるよ。

フレッド：やってみても、あまり意味がないよ。

ディエゴ：あきらめるなよ。君は英語で合格点を取る必要があるんだろ。

- ① 僕はできると確信している。
- ② 時間の無駄になるさ。
- ③ 君が何をできるか見せてくれ。
- ④ 君はそれを逃したくない。

空所直前のフレッドの発言から、昼休みに自分が宿題に取り組むことに否定的な言葉が入ることがわかる。よって②が適切。

B

【解説】

問1 正解 ①

日本の学生が実体験を通して理科を学んでいることを説明することが、本文の趣旨である。よって、理科の成績について述べた①は、この趣旨と無関係である。

【全文訳】

日本の学生たちは、今では授業において実践的な活動に関わることが増え、事実の暗記は減っている。学生たちは実体験を通して科学法則を学んでいる。①彼らは、世界の他の学生たちと比べて理科の成績が良い。②彼らは針金や磁石、クリップといった日用品を使って電気モーターを作る。③塩と氷でアイスクリームを手作

りする。④学生たちは、楽しくためになる上に実践的なので新しい学習スタイルが好きだと言っている。この新しい方法によって、学生たちが科学にもっと興味を持つことが望まれる。

問2 30 正解 ②

試行錯誤（失敗を繰り返しながら正しいものを見つけ出す）という方法について説明することが本文の趣旨である。よって、治療自体の科学的信頼性についての懸念を述べた②は、この趣旨と無関係である。

【全文訳】

試行錯誤は、科学で用いられる方法の1つであるが、日々の生活にもしばしば見られる。それが観察されるのは、人々が気分が良くないときである。人々は以前に使ったことのある治療法のリストを持っている可能性がある。また医学書にあたり、インターネットを調べて新しい治療法を探すこともできる。そうした治療法のどれかを使うことにすることもあるだろう。①その治療法で体調が良くならなければ、別の治療法を試す。②人々はその治療法がどれほど科学的であるかを気にかけている。これは、いかにこの方法が日常生活で採用されているかを示す例である。③問題を解決する際に、科学者たちは2つ以上の案を考え出し、可能な選択肢の中の1つを用いる。④1つの案がうまくいかないときは、他の選択肢を考える。このように、科学と日常生活で用いられる方法にはいくつかの共通点がある。

問3 31 正解 ①

下線部直前の文で感情的飢餓と肉体的飢餓には重要な違いがあると述べており、この違いを説明することが下線部以降の目的である。①は逆に共通点を説明している。よって①が正解。

【全文訳】

食べ物は私たちの胃を満たす以上のことができる。つまり、感情も満たすのである。空腹でないときにそれらの感情を食べ物で満たそうとすれば、これはエモーショナル・イーティング（気を紛らわすために食べること）として知られている。感情的飢餓と肉体的飢餓には重要な違いがいくつかある。①感情的飢餓と肉体的飢餓は、ともに食べ物で排除しようとする空虚感の信号である。②感情的飢餓が突然襲うのに対して、肉体的飢餓は徐々に起こる。③感情的飢餓は自分が欲する食べ物ですぐに対処しなければならないように感じられるが、肉体的飢餓には待つ余裕がある。④エモーショナル・イーティングは後に罪悪感を残すことがあるが、肉体的飢餓による食事はそうではない。感情的飢餓は食べ物で完全に満たされることはありえない。その瞬間は食べることで気分がよくなるように思われても、飢餓を生じさせた感情は依然として存在しているのである。

C

【解説】

32 正解 ④

- ① 異文化間の知識が、人々に留学したいと思わせる
- ② 生き方の中には、他よりも正しいと思われるものがある
- ③ 過去には異文化間コミュニケーションの事例がもっと多くあった
- ④ 私たちが文化的な誤解をもっと容易で円滑に処理できる

直前で教授は学生1の発言を「その通りです」と是認しており、学生1は、その前で「異文化間コミュニケーションの意識を持つことは、誤解が起きたときに私たちがそれを理解して対処する一助となりえます」と述

べている。よって④が正解。

33 正解 ④

- ① 他の文化集団と同じ信念を持つことは、重要である
- ② 同じ文化集団の人は、たいてい行動が異なる
- ③ 人々の食べ物に対する態度は、その人がどの文化の出身であるかを決定する
- ④ 共有される行動によって、人はある文化集団の一員になるのかもしれない

学生 2 の発言には、①～③の趣旨の内容はなく、「同じ文化の人々は同じように振る舞うことがよく見られます」という発言をしている。よって④が正解。

34 正解 ①

- ① 1つの文化には複数の集団があり、それらがより大きな集団を構成している
- ② 違った行動をすることは、集団員として許されない
- ③ 文化規範に従う集団にいることは、重要である
- ④ サブカルチャーの集団の数は、制限されるべきである

直前の発言で教授は「彼らはもっと小さな集団に属するということになるかもしれませんが、それでもその集団はその文化の一部と見なされます」と述べている。よって①が正解。

【全文訳】

教授：おはよう。全員が課題文献には目を通したと思うので、今日の異文化間コミュニケーションに関する授業を始めたいと思います。私の最初の質問は「なぜ私たちは異文化間コミュニケーションを勉強する必要がありますのか」です。誰か答えたい人は？

学生 1：はい、私がそれに答えようと思います。人は自分の物事のやり方や世界の見方が「自然」で「正しい」と思うかもしれませんが。物事のやり方が違う人に出会うと、人はそれを「奇妙」とか「間違いだ」と見なします。異文化間コミュニケーションの意識を持つことは、誤解が起きたときに私たちがそれを理解して対処する一助となりえます。それが特に今日重要だと思うのは、人々が仕事や勉強、休暇など多くの理由で海外に出かけるからです。他の国の人々に会う機会は非常に増えています。これほど接触が増えると、異文化出身者の間でトラブルが起こる機会がもっと多くなります。

教授：その通りです。君の言ったように、異文化間コミュニケーションを勉強することが役立つのは、**32** 私たちが文化的な誤解をもっと容易で円滑に処理できるからですね。

教授：話を「文化」という概念に移しましょう。文化というものは常に私たちを取り巻いていますから、定義するのは難しいと君たちはわかっていると思います。ですから、私たちは文化を特徴面から議論する傾向があります。誰か文化的特徴の事例を挙げられますか？

学生 2：私が面白いと思った特徴は、ある文化に属する人々には同じ価値観、信念、行動があるということです。価値観とは、日本の「もったいない」という概念のように、価値があると思われている物事のことです。信念とは、人々が真実であると信じている物事で、これは多種多様な領域に及びます。例えば、ある文化の人々は許容できない食べ物の種類に関する信念を共有しているかもしれません。行動は人々の行為に関するもので、同じ文化の人々は同じように振る舞うことがよく見られます。

教授：良い説明です。それはつまり、**33** 共有される行動によって、人はある文化集団の一員になるのかもしれないということですね。

学生3：1つ質問してもいいでしょうか？

教授：もちろん。

学生3：いつも周囲の人間と違って見える人は、どうなるのでしょうか？時々私のやり方は友人とは違うことがあります。ですから、集団員として認められるために同じ行動をしなければならなかったら、同じでない人たちは自分の文化集団の一員ではないということになるのでしょうか？

教授：それはいい質問です。これに答えるには、個々の例ではなく文化規範の観点から考える必要がありますね。

学生3：文化規範って何ですか？

教授：えー、文化規範とは、文化集団の構成員たちが共有している行動上の規則や基準のことです。

学生3：で、その文化規範に従わない人々は、どうなるのですか？

教授：まあ、彼らはもっと小さな集団、つまりサブカルチャーの集団に属するということになるかもしれませんが、それでもその集団はその文化の一部と見なされます。彼らの行為がその特定の文化に受け入れられる行動の範囲内にある限り、このことは当てはまります。

学生3：では、**34** 1つの文化には複数の集団があり、それらがより大きな集団を構成していると考えてよろしいでしょうか？

教授：そうです。これで、状況が明らかになったのではないのでしょうか。よろしい。私たちは、さらに続けて文化のもう1つの特徴について考える準備ができたと思います。

第4問

A

【解説】

問1 **35** 正解 ②

「グラフ1において、(A)、(B)、(C)、(D)は次のどれを指すか」

- ① (A) オーストラリア (B) チリ (C) メキシコ (D) 南アフリカ
- ② (A) オーストラリア (B) メキシコ (C) 南アフリカ (D) チリ
- ③ (A) 南アフリカ (B) チリ (C) オーストラリア (D) メキシコ
- ④ (A) 南アフリカ (B) メキシコ (C) オーストラリア (D) チリ

第3段落の第2文に「主な供給国の中で、メキシコは長期に渡る輸入元である」とあり、グラフの1990年からずっと存在している(B)がメキシコだとわかる。同段落第4文に「オーストラリアはそのような国の一番手で、1990年代初期に輸出を開始した」とあるから、グラフ上で1992年に初登場する(A)はオーストラリアだとわかる。さらに、第5文に「オーストラリアに続いて、1990年代後半には南アフリカが、そしてごく最近にはチリも加わった」とあるから、グラフ上でそれぞれ1999年と2009年に初登場する(C)が南アフリカ

カ、(D)がチリだとわかる。よって②が正解。

問2 36 正解 ①

「文章によれば、ネーブルオレンジとバレンシアオレンジの違いの1つを正しく説明しているのは、次のどれか」

- ① ネーブルオレンジはバレンシアオレンジより種が少ない。
- ② ネーブルオレンジはバレンシアオレンジより果汁が多い。
- ③ バレンシアオレンジは、冬にネーブルオレンジより人気がある。
- ④ バレンシアオレンジは、ネーブルオレンジより生で食べるのに適している。

第4段落第2文に、「ネーブルオレンジは、ほぼ種なしで、果肉がはがれやすく、水っぽくなく実がしまっていて、生で食べるものとして最も人気のあるオレンジである」とあり、同段落第4文に「バレンシアオレンジは、皮が薄く、時折種があり、水分が多く甘い果肉を持つ」とあるから、①が正解で②と④は誤りとわかる。なお、③については第5段落から誤りとわかる。

問3 37 正解 ③

「この文章の主たる目的は何か」

- ① 合衆国のオレンジ生産の季節による変化を説明すること
- ② ネーブルオレンジとバレンシアオレンジの違いを説明すること
- ③ 合衆国のオレンジの生産と輸入の関係を説明すること
- ④ 合衆国で生産されるネーブルオレンジの品質を改良すること

③が本文全体の趣旨をバランスよく表しており正解となる。①に関しては第5段落に詳しいが、季節による生産の変化は輸入の一因として挙げられているにすぎない。②は第4段落と第5段落に限定された話題である。④については文中に言及がない。

問4 38 正解 ②

「最終段落に続く可能性が最も高い話題はどれか」

- ① 合衆国から南半球への他の果物の輸出比率
- ② 他の果物の輸入における季節による変化を示す統計
- ③ 南半球からのネーブルオレンジの出荷方法
- ④ 合衆国とメキシコで一般的に栽培されている果物の種類

最終段落の第1文と第2文でオレンジ輸入の季節による変化に触れた後、最終文で「この傾向は他の多くの果物の場合に見られる傾向と類似している」とある。したがって、次に続く可能性が最も高いものは②と判断できる。

【全文訳】

アメリカ合衆国の消費者は、特に1990年代以降、新鮮な果物の輸入量とその種類の増加から恩恵を受けている。今日の食料品店の青果コーナーには、数十に及ぶ異なる新鮮な果物が一年中並べられていることが多く、それは国産の新鮮な果物を補うものとして世界各地から取り寄せられている。

新鮮な果物の急速な輸入の伸びは、合衆国の青果市場の多くの面に影響を与えている。例えば、オレンジは合衆国の主だった国産果実だが、合衆国のオレンジ輸入量は1990年代以降着実に増えており、合衆国の収穫物

が凍りつくような天候に見舞われたときに時折突然増加することもあった（グラフ 1 参照）。

（グラフは省略）

合衆国の国内市場は、様々な国や地域からオレンジを輸入している。主な供給国の中で、メキシコは長期に渡る輸入元である。しかし、年間を通じて合衆国の新鮮なオレンジに対する需要が高いために、特に国産のネーブルオレンジがとれない夏の数カ月間は、南半球の国々も主だった供給国になっている。オーストラリアはそのような国の一番手で、1990 年代初期の輸出開始に先立って合衆国政府からネーブルオレンジを合衆国に輸出する許可を得ていた。オーストラリアに続いて、1990 年代後半には南アフリカが、そしてごく最近にはチリも加わった。

合衆国では、主に「ネーブルオレンジ」と「バレンシアオレンジ」という 2 種類のオレンジが国内で生産されている。ネーブルオレンジは、ほぼ種なしで、果肉がはがれやすく、水っぽくなく実がしまっていて、生で食べるのに最も人気のあるオレンジである。ネーブルオレンジが合衆国の青果市場のオレンジ出荷量で占める割合は、2010 年～2012 年の年度で 76 パーセントだった。それに比べ、バレンシアオレンジは、皮が薄く、時折種があり、水分の多い甘い果肉を持ち、同じ期間で 24 パーセントを占めていた。合衆国一の青果市場向けオレンジ供給元として、カリフォルニア州は青果市場用ネーブルオレンジの 87 パーセントと青果市場用バレンシアオレンジの 81 パーセント以上を生産した。

国内の青果市場向けオレンジの主たる収穫期間は、11 月から 5 月で、それはカリフォルニア州のネーブルオレンジが旬の時期である。しかし、国内向けに生産・出荷されるオレンジの量は、6 月から 10 月に著しく減少する。新鮮なオレンジの輸入がまだ国内消費のわずかな部分しか占めていなかった初期の年代では、ネーブルオレンジが旬ではない時期はバレンシアオレンジが人気品種だった。しかしグラフ 2 に見るように、南半球諸国からのネーブルオレンジの輸入は、夏季に合衆国を席捲するようになった。

（グラフは省略）

季節ごとの生産パターンのために、メキシコのオレンジの大半は 12 月から 6 月にかけて合衆国の市場に届くが、この時期は合衆国の国内供給が比較的高い。対照的に、南半球諸国からの輸入の季節は主に 6 月から 10 月で、この時期は合衆国の国内供給が比較的低い。この傾向は他の多くの果物の場合に見られる傾向と類似している。

B

【解説】

問1 39 正解 ②

「19 歳の店員カズコは、美術館の活動に参加したいと思っているが、時間が空いているのは平日の晩だけである。彼女が最も選びそうな活動はどれか」

- ① 総合ツアー
- ② スケッチ教室
- ③ 写真ワークショップ
- ④ ショート・ツアー

プログラムの中で「平日の晩」に設定されているものは、表の右端の欄を見れば「月曜日午後 7 時」のス

ケッチ教室しかない。これは 18 歳以上の大人向けでもあるから 19 歳のカズコに適切であることもわかる。

よって、②が正解。

問2 **40** 正解 ③

「退職した夫婦と 6 歳の孫と一緒に平日午後の活動に参加したいと望んでいる。彼らが最も選びそうな活動はどれで、合計で支払う金額はいくらか」

- ① 総合ツアー, 20 ドル
- ② 総合ツアー, 40 ドル
- ③ ショート・ツアー, 20 ドル
- ④ ショート・ツアー, 28 ドル

表中の 2 種類のツアーのうち「平日午後」という条件からショート・ツアーに決まる。金額は、孫は無料で大人 2 人分の料金 20 ドルになる。これは「注意」書きの 1 つ目にあるように入館料込みだから、これ以上の費用は払わなくてよい。よって、③が正解。

問3 **41** 正解 ①

「ウェブサイトによれば、正しいのはどれか」

- ① 事前予約は「アート・トーク」には不要である。
- ② 総合ツアーは毎日開催される。
- ③ 入館料はツアー料金には含まれない。
- ④ アマチュアの芸術家による講演がある。

「注意」書きの 3 つ目の第 2 文から①が正解とわかる。なお、③は「注意」書きの 1 つ目から、④は最初の案内記事の最終文から、誤りだとわかる。また、②は表から誤りとわかる。

【全文訳】

オクタゴン美術館

オクタゴン美術館(OMA)は、絵画、彫刻、写真などの現代美術を取り上げた展覧会やプログラムをご提供しています。オクタゴン財団によって 1972 年に設立され、多くの常設展示物を伴う膨大なコレクションを有し、また特別展示やプロの芸術家・評論家による講演、学童向け各種教室、専門家がご案内する館内ツアーもご提供しています。

入館料: 1 人 5 ドル(6 歳以下のお子様は無料)

プログラム料金:

ショート・ツアー(90分)	大人(18歳以上)	10ドル	毎日2回 午前9時・午後2時
	学生(7歳-17歳)	8ドル	
	子供(6歳以下)	無料	
総合ツアー(3時間)	大人(18歳以上)	20ドル	火曜日・土曜日 午前10時
	学生(7歳-17歳)	15ドル	
	子供(6歳以下)	無料	
スケッチ教室(90分)	大人(18歳以上)	15ドル	月曜日, 午後7時
	学生(7歳-17歳)	8ドル	水曜日, 午後4時
	子供(6歳以下)	無料	水曜日, 午前10時
写真ワークショップ(2時間)	大人(18歳以上)	17ドル	日曜日, 午後7時
	学生(7歳-17歳)	12ドル	日曜日, 午前10時

注意:

- ツアー, 教室, ワークショップの料金は入館料込みです。
- ツアー, 教室, ワークショップには少なくとも1週間前には[こちら](#)で登録をお願いします。
- 当館では「アート・トーク」(隔週土曜日 OMA ホールにてゲスト講演者をお招きし, 成人観客とお話します)もご提供しています。ご予約や追加料金は不要です。今月の予定については, [こちら](#)をクリック。

第5問

【解説】

問1 **42** 正解 ②

「物語の冒頭で、ジョンおじさんは **42** 」

- ① 「『ザ・ビッグタイム・クックオフ』のために料理をしていた」
- ② 「マイクのために特別な食事を作っていた」
- ③ 「コンテストのためにマイクを訓練していた」
- ④ 「彼のレシピを改善しようと努めていた」

第1段落の第1文に「彼は台所に立ち、賞を勝ち取った四品料理のディナーをどのようにまとめるか私に見せながら」とあり、第2文に「私は大学を卒業したばかりで、このディナーは彼から私への贈り物だった」とあるので、②が正解。①、③、④のような記述はない。

問2 **43** 正解 ③

「ジョンおじさんの父親が都会で働き始めたのは **43** からである」

- ① 「彼が田舎で暮らすのに飽きた」
- ② 「家族と一緒に過ごす方がより容易だった」
- ③ 「家族が生活のための金をもっと必要とした」
- ④ 「ジョンおじさんの母親が病気がってしまった」

第2段落の第4文と最終文に「しかし、請求書が積み重ねられて、家族は困難に陥った。ジョンの父親は結局遠く離れた都市で仕事に就かなければならなくなり、そのため彼が家に帰れるのは週末だけになった」とあるので、③が正解。①、②、④のような記述はない。

問3 **44** 正解 ②

「ジョンおじさんの両親と先生たちはなぜジョンの将来のことを心配したのか」

- ① 「彼が家で休みたがるだけだったから」
- ② 「彼が勉強に対する興味を失ったから」
- ③ 「彼が父親を避けるのをやめたから」
- ④ 「彼はもはや上機嫌な人物ではなかったから」

第3段落の第7～9文に「彼は友達とショッピングモールでぶらぶらするようになり、時々授業をさぼるようになった。少しずつ、ジョンの成績は下がっていった。彼の両親と先生は彼の将来のことを心配した」とあるので、②が正解。

問4 **45** 正解 ③

「ジョンおじさんの人生を最も大きく変える一助になったものは何か」

- ① 「賞を勝ち取ったディナーを友達と一緒に食べたこと」
- ② 「『ザ・ビッグタイム・クックオフ』のような料理コンテストに出場したこと」
- ③ 「料理を通して父親との結びつきを持ったこと」
- ④ 「台所でマイクと話すのに時間を費やしたこと」

第4～6段落では、ある日曜日の朝ジョンおじさんの父親がジョンと一緒に料理を作ってくれた話が語られ

ており、第 6 段落の第 5～8 文に「ジョンは久しぶりに父親に親近感を覚えた。そのときからずっと、ジョンが家で過ごす時間が増えた。彼は家族のため、その後は大学の友人のために定期的に料理をするようになった。ジョンは料理をするときはいつも幸せだと感じ、そしてこの幸せが彼の人生の他の分野にあふれて広がっていた」とある。また、最終段落のジョンおじさんの発言に「まさにそれは、ずっと昔の夏のある晴れた日に、私の父親が私にしてくれたことに似ている。そしてそれが私の人生を一変させたのだ」とあるので、③が正解。

問5 46 正解 ②

「ジョンおじさんが最も満足感が得られると思うものは何か」 46

- ①「有名人のために独自の四品料理のディナーを開発すること」
- ②「彼にとって親しい人々と意味のある関係を持つこと」
- ③「テレビショー番組の料理を通して人々を幸せにすること」
- ④「彼のレストランで多くの人においしい料理を出すこと」

最終段落の第 5 文に「だが、私を一番幸せにしてくれるものは、私にとって大事な人の 1 人である君と一緒にここに立っていること、そして君と私の 2 人だけで話すことだ」とあるので、②が正解。

【全文訳】

「私が大物になるとは誰も思わなかったよ」と、ジョンおじさんは、台所に立ち、賞を勝ち取った四品料理のディナーをどのようにまとめるか私に見せながら言った。私は大学を卒業したばかりで、このディナーは彼から私への贈り物だった。有名シェフが私のために料理をしてくれるというのは、素晴らしい気分だった。これに加えて、彼が数日中に全国放送のテレビ料理コンテスト「ザ・ビッグタイム・クックオフ」に出場することになっているため、私は興奮していた。

ジョンおじさんが若かった頃、彼の家族は田舎に住んでいた。彼の母親は地元の学校で教えていたのだが、ジョンが 10 歳のときに、彼女は年老いた母親の世話をするために仕事を辞めなければならなくなった。それまで、彼の父親は優しく、ジョンや 2 人の妹と一緒に遊んでくれる時間が十分にあった。しかし、請求書が積み重ねられて、家族は困難に陥った。ジョンの父親は結局遠く離れた都市で仕事に就かなければならなくなり、そのため彼が家に帰れるのは週末だけになった。

次第に、忙しい仕事のスケジュールのために、ジョンの父親は、家に帰ってくるときはいつも疲労の色を見せるようになった。実を言うと、彼は上機嫌な人物から始終不機嫌な人物に変わっていた。彼は家にいるときはただ休みたいと思うだけだった。彼はしばしば小さなことでジョンを叱りつけた。父親に受け入れられたいと思い、ジョンは最善を尽くそうとしたが、十分だと感じることは決してなかった。最後には、彼は父親を避け始めた。彼は友達とショッピングモールでぶらぶらするようになり、時々授業をさぼるようになった。少しずつ、ジョンの成績は下がっていった。彼の両親と先生は彼の将来のことを心配した。

ある日曜日の朝、ジョンの母親が自分の母親の世話をしに出かけている間、彼の父親がテレビのある部屋でうたた寝をしていた。ジョンの妹たちがおなかを空かせていたので、ジョンは彼女たちのために何か料理をしようとした。彼は料理の仕方をよく知らなかったが、父親を煩わせたくなかった。

突然台所のドアが開いて、彼の父親がそこに立っていた。「お父さん、起こしたのならごめんなさい。チェルシーとジェシカがおなかを空かせていたので、妹たちに卵を料理してやろうとしていたんだ」彼の父親は少しの間彼を真剣に見た。「卵？ 卵は今日のようないい天気の日曜日に昼食にするのはよくない。裏庭で

ステーキを焼こう」「本当にいいの？ お父さんは疲れているはずだけど」「大丈夫だ。料理は好きなんだよ。大学時代にコックのアルバイトをしていたときのことを思い出すなあ。おいしいステーキの作り方を教えてあげよう」

ジョンが驚いたことに、彼の父親は料理を始めると元気になった。彼はジョンをそばに立たせ、料理は、ある意味で、科学プロジェクトのようなものと彼に細かく説明した。「材料を正確に測ってどの食材が合うのか知る必要がある。これをマスターすれば、とても多くの人々に喜びを与えることができる」ジョンは久しぶりに父親に親近感を覚えた。そのときからずっと、ジョンが家で過ごす時間が増えた。彼は家族のため、その後は大学の友人のために定期的に料理をするようになった。ジョンは料理をするときはいつも幸せだと感じ、そしてこの幸せが彼の人生の他の分野にあふれて広がっていった。

ジョンおじさんはレストランの仕事をしながら大学を卒業し、結局は有名レストランのシェフになった。彼はその仕事が本当に好きで、一生懸命働いて独自の技術を開発した。彼はとうとう独自のスタイルの料理を出す自分のレストランを開くことができた。彼は数々の賞を受賞し金持ちや有名人のために料理した。

ここでコンテストの話に戻ろう。ジョンおじさんと私は彼が選ばれたことに興奮した。それでもなお、彼は本当に心を動かすものをその台所で私と共有した。「わかるかね、マイク」とジョンおじさんは言った、「私は『ザ・ビッグタイム・クックオフ』の一環としてテレビに出られることにわくわくしている。だが、私を一番幸せにしてくれるものは、私にとって大事な人の 1 人である君と一緒にここに立っていること、そして君と私の 2 人だけで話すことだ。まさにそれは、ずっと昔の夏のある晴れた日に、私の父親が私にしてくれたことに似ている。そしてそれが私の人生を一変させたのだ」

第6問

【解説】

A

問1 **47** 正解 ①

「段落(2)によれば、次の文章のうち正しいものはどれか」

- ①「オペラは新たな状況に適応することで発展する」
- ②「オペラファンはオペラ上演について有名人に感謝している」
- ③「オペラ歌手はテレビや映画で歌うのを避ける」
- ④「オペラ歌手の人生の物語は劇的である」

段落(2)の第 4 文に「長年、オペラは世界中の多様な音楽や演劇の発展に対応してきたし、今後もそうし続ける」とあるので、①が正解。②、③、④のような記述はない。

問2 **48** 正解 ③

「段落(3)において、『しかしオペラ歌手についてはどうなのか』という疑問を別の言い方にすればどうなるか」

- ①「オペラ歌手はどのように準備するのか」
- ②「我々はオペラ歌手をどのように利用すべきか」

③「オペラ歌手にはどれほどの価値があるのか」

④「オペラ歌手は総額でいくら支払うか」

下線部の直前では、企業経営者が受け取る多額の報酬やスポーツ選手の高額な契約を社会が受け入れているということが述べられており、それを受けた「オペラ歌手についてはどうなのか」という疑問なので、社会に受け入れられるオペラ歌手の報酬がどれくらいかという疑問となる③が正解。

問3 **49** 正解 ①

「段落(3)と(4)によれば、正しい記述はどれか」

①「オペラ歌手は収入が不安定である」

②「オペラ歌手がオペラを見に来てくれと頼むのは裕福な人々だけである」

③「オペラ歌手は公演の前に出演料をもらう」

④「オペラ歌手は貧しければいっぱいそううまく演じる」

段落(3)の第 5 文に「この資金不足は、オペラ歌手やその他の芸術家を支援するのにどのくらいのお金が支払われるべきかというより幅広い問題を提起する」とあり、段落(4)の第 5 文と最終文に「病気になったり出演をキャンセルしたりすれば、出演料を失うことになる。このシステムの不安定さが、オペラの将来を危険にさらしているのである」とあるので、①が正解。②のような記述はない。③は段落(4)の第 3 文に、④は段落(3)の第 8 文に矛盾する。

問4 **50** 正解 ③

「段落(5)における筆者の意見を最もよく表しているものはどの記述か」

①「オペラがどのように上演されるべきかは聴衆が一番よく知っている」

②「オペラをもっと楽しくするためにマイクが使用されるべきだ」

③「オペラ歌手の声は外見よりも高く評価されるべきだ」

④「大衆文化はオペラにより影響を及ぼしてきた」

段落(5)の第 5 文と最終文に「オペラ歌手は、体重が低すぎれば、マイクなしで大きな劇場やコンサートホールに行き渡るほど大きな声を出すことなど決してできない。歌唱力以上に肉体的な外見を強調すれば、聴衆は最高の状態の人間の声を聞き逃してしまうことになるかもしれない」とあり、オペラ歌手の場合は外見よりも声を重視すべきだというのが筆者の意見である。したがって、③が正解。筆者は大衆文化の影響を受けた聴衆に対して否定的であり、①、④は本文と矛盾する。②のような記述はない。

問5 **51** 正解 ③

「この文章に最適な表題は何だろうか」

①「オペラで金を儲ける方法」

②「大衆文化の一部としてのオペラ」

③「オペラが直面している課題」

④「オペラの歴史的背景」

段落(3)の第 1 文に「しかし、近年、オペラは深刻な課題に直面している」とあり、これがこの文章全体を貫く主題であることは、段落(6)の第 1 文「オペラの問題には簡単な解決策はないし、オペラの価値については多くの異なる意見がある」からもわかる。したがって、③が正解。

B

正解 52 ③ 53 ① 54 ④ 55 ②

段落	内容
(1)	オペラの紹介
(2)	52
(3)	53
(4)	54
(5)	55
(6)	オペラの展望

- ① 「オペラに対する世界経済の影響」
- ② 「大衆文化がオペラに与えた衝撃」
- ③ 「過去から現在までのオペラ」
- ④ 「資金運営面の諸問題」

段落(2)では西洋クラシック音楽の一形式であるオペラの歴史が述べられており、これは③「過去から現在までのオペラ」に相当する。段落(3)ではオペラが現在直面している課題、特に世界的な景気後退による経済的問題が論じられており、これは①「オペラに対する世界経済の影響」に相当する。段落(4)では、オペラ上演における資金運用法の問題が論じられており、これは④「資金運営面の諸問題」に相当する。段落(5)は、現代の大衆文化がオペラに与える影響について論じており、これは②「大衆文化がオペラに与えた衝撃」に相当する。

【全文訳】

- (1) オペラは最高度の表現レベルにある人間の声を賛美する芸術形式である。特に、優れた歌手によって演じられるときは、オペラのように興奮を生み出し、心を動かす芸術形式は他にない。そのような歌手は、人間の声のためにこれまでに作曲されてきた最も優れた最も困難な音楽の一部を上演するよう訓練されている。
- (2) オペラは、西洋クラシック音楽の伝統の重要な一部である。それは、劇的な物語を生き生きとしたものにするために、音楽、言葉、演技を使用する。オペラは16世紀末にイタリアで始まり、その後ヨーロッパ中に普及した。長年、オペラは世界中の多様な音楽や演劇の発展に対応してきたし、今後もそう続ける。ここ数十年、現代の録音技術を通して、ますます幅広い聴衆がオペラに触れるようになっている。一部の歌手は、ラジオやテレビ、映画での歌唱のおかげで有名人になっている。
- (3) しかし、近年、オペラは深刻な難題に直面している。これらのいくつかの原因は、対応のしようがないものである。オペラの現代の難題の1つは、経済的なものである。現代の世界的な景気後退は、文化団体や芸術家に対して使うことのできる資金が少なくなるということを意味するようになった。この資金不足は、オペラ歌手やその他の芸術家を支援するのにどのくらいのお金が支払われるべきかというより幅広い問題を提起する。社会は、企業経営者に支払われる多額の給料や、スポーツ選手と結ばれる何百万ドルという契約は受け入れているようだ。しかし、オペラ歌手についてはどうだろうか。 どうやら、人々は、芸術家は貧窮に

苦しまなければ創造的になれないという考えを抱いているようだが、これは非現実的である。もし、オペラ歌手を含む芸術家が、必要とする支援を受けられないとすれば、貴重な才能が無駄になるのだ。

- (4) 資金不足だけでなく、オペラ業界における資金運用法が困難を引き起こしてきた。一般的に、主要な歌手には、ショーを終えた時点で出演料が支払われる。彼らはたいてい、ショーが始まる前の何週間にもわたるリハーサル期間中、何も受け取らない。役の準備のため、彼らはレッスンやコーチングセッションの費用を払わなければならない。病気になったり出演をキャンセルしたりすれば、出演料を失うことになる。このシステムの不安定さが、オペラの将来を危険にさらしているのである。
- (5) オペラが直面するもう1つの問題は、大衆娯楽の影響を受けた聴衆の要求にどのように応えるかということである。ポップ歌手はしばしば、彼らの音楽と同じくらいに彼らの外見に基づいて評価される。それゆえ、オペラ歌手は、この大衆文化の影響を受けた聴衆を相手に演じるため、今や「歌を歌うモデル」であることを期待される。このような要求は非現実的で、場合によっては有害かもしれない。オペラ歌手は、体重が低すぎれば、マイクなしで大きな劇場やコンサートホールに行き渡るほど大きな声を出すことなど決してできない。歌唱力以上に肉体的な外見を強調すれば、聴衆は最高の状態の人間の声を聞き逃してしまうことになるかもしれない。
- (6) オペラの問題には簡単な解決策はないし、オペラの価値については多くの異なる意見がある。しかし、毎年、多くの若者が、この特別な芸術形式において自らの才能を伸ばす希望と夢を抱いて、音楽課程を受講する。オペラが多くの困難を乗り越え、若い世代を魅了し続けているという事実は、それが依然としてきわめて価値の高い立派な芸術形式であることを実証している。